

所属	社会福祉学部	職名	教授	氏名	斉藤 くるみ	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	英語B5、英語B14、英語B17、人間の知性と感性I(教養基礎演習/手話から言語学へ)、人間の知性と感性の認識IV(ことばと脳/聴覚障害児の心理)、人間の知性と感性(ろう文化/聴覚障害教育特講)、障害児の心理・生理・病理、障害児教育課程論・障害児教育指導論、国際社会福祉論、専門演習、卒論指導						
専門職大学院							
大学院博士前期	専門英語I、専門英語II、社会福祉学研究演習Ia, Ib, II, III, IV						
大学院博士後期	社会福祉学専門研究演習Ia, b, c, II, III, IV, V, VI						
通信教育科							
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1	教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) カルテを使った英語の個別指導 学際領域としての手話研究の導入 少数言語話者としてのろう者とうろうコミュニティーの紹介 英語と国際社会福祉論の連携	2010～	<p>「英語」(福祉の英語、動物と福祉をテーマとする英語、TOEIC対策)では毎回のテストを一目で見られる学生ひとりひとりのカルテを作成し毎回やりとりした。</p> <p>「教養基礎演習」「ことばと脳」「ろう文化」では手話研究から学際的な視点を示し、かつ語学としての「日本手話」の授業との関連を重視した。「ろう文化」ではイギリスで発祥した障害学の考え方や言語文化論的アプローチを示し、かつ語学としての「日本手話」の授業との関連を重視した。</p> <p>国際社会福祉論につながる英語教材を利用した科目を設置した。そして国際福祉論、アジア実地研修に結び付けた。</p>				
2	作成した教科書、教材、参考書 『視覚言語の世界』(彩流社) 『少数言語としての手話』(東京大学出版会) 『媒介言語を学ぶ人のために』(世界思想社) 『コミュニケーションの力を伸ばすアドバイス』DVD「ことばのバリアフリーをめざして」を文科省GPにより作成	2003(2005改訂増補)～ 2007～ 2009～ 2012～	<p>視覚言語を通して、言語コミュニケーションの理論を説明し、文化と言語の関係をわかりやすくまとめた。</p> <p>手話の言語性の証明、手話の芸術、手話と教育の関係等についてわかりやすく述べた。</p> <p>国際手話の発祥と役割について紹介し、ジェスチャーの言語化やビジョンについて述べた。</p> <p>文科省GP「ことばのバリアフリーを目指して」を獲得。福祉の大学でのコミュニケーション教育のための教科書・DVDを作成。</p>				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等 脳科学を福祉教育に活かす～コミュニケーション能力を高める授業を目指して(『日本社会事業大学研究紀要』57) 大学における日本手話の意義～リベラルアーツ教育・アイデンティティ教育からキャリア教育へ 聴覚障害者のスキルアップ・ステップアップのための書記日本語教育法およびマニュアルの開発～エラーアナリシスを中心に	2010～ 2011～ 2015～	<p>認知科学的実験を行い、認知科学とコミュニケーションの関係を解き明かし、福祉教育に活かす方法を発表した。</p> <p>日本手話を中心にした大学教育の実践と新しいカリキュラムの開発。</p> <p>聴覚障がいをもつ学生のライティングのエラーアナリシスからレメディアル教材を作った。</p>				
4	その他教育活動上特記すべき事項 日本手話による教養科目の設置 科目「情報保障」の設置 100%の情報保障 ろう・難聴の大学生のためのライティングサポート アジア研修旅行、国連災害世界会議への引率	2010～	<p>全員ろう者である研究者による日本手話による教養科目をコーディネートした。</p> <p>聴覚障害をもつ学生の支援技術を指導する「情報保障」という科目を新設。</p> <p>学内の聴覚障害をもつ学生に100%の情報保障を提供した(日本財団助成)。</p> <p>本学の学生を含むろう・難聴の大学生を対象にレポート・論文の書き方を教えるライティングサポート・プログラム。</p> <p>ろう学生を交えたスマトラ沖地震最大の被災地バンダアチェでの研修、仙台での国連災害国際会議で、障がい者の防災対策会議、タイのろう協・HIV孤児施設・老人大学等、ベトナムのろう学校・児童養護施設等の研修、ネパールの大地震被災地の障害児学校・施設、ろう学校にろう学生を含む本学の学生を引率した。</p>				

研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
< 著書・編著書 >					
< 研究論文・研究ノート >					
"Eye Gaze and Eye Movement in Japanese Sign Language"	単著	2016.3.	Journal of Social Policy and Social Journal of Social Work 20		5-21
"Cognition of Children with Hearing/Visual Impairments and its Applicability to Language Teaching: Toward Barrier-Free Elementary School English Education"	単著	2014	Journal of Social Policy and Social Work 18		5-17
"Support for Hearing Impaired High School Students Intending to Go to College"	単著	2013	Journal of Social Policy and Social Work 18, (2013), 7-17.		7 - 17
「大学教育における『日本手話』の意義 リベラルアーツ教育・アイデンティティ教育からキャリア教育へ」	単著	2011	『大学教育学会誌』、63		96 - 103
「脳科学を福祉に活かす コミュニケーション能力を高める授業を目指して」	単著	2010	『日本社会事業大学研究紀要』、57。		179-199
「視覚言語の交差点 - 国際手話の形成と展開」、木村護郎・クリストフ他編『媒介言語を学ぶ人のために』	単著	2009	世界思想社		104-122
「バリアフリーコミュニケーションを目指す大学生のための英語教育教材」	単著	2009	『大学教育学会誌』59		154-161
< 調査・研究報告書 >					
アジアの大規模災害被災地における身体障がい者の避難生活支援の実態調査 フィリピン・レイテ島のハイエン台風被害者	共著	2016.3	『日本社会事業大学研究紀要』62	斉藤くるみ(研究代表者) 西田昌之	29-44
文部科学省科学研究費基盤B報告書「視覚・聴覚障害児の認知能力を利用した小学校英語バリアフリー教授法・教材の開発」	単著	2016.3	http://www.geocities.jp/hipchip_1221/kaken.html		
「アジアの福祉に目を向けるソーシャルワーカーの育成へ～アジア・サービス・ラーニングプログラム」	共著	2016.3	『日本社会事業大学研究紀要』63	斉藤くるみ(研究代表者) 西田昌之	117-132
「福祉を学ぶ学生のための教養教育としてのハンセン病研究」	共著	2016.		斉藤くるみ(研究代表者)・相原朋枝・大野ロベルト・後藤隆・鈴木久美・田村真広・辻浩	75-79
平和中島財団アジア地域重点学術研究助成「視覚コミュニケーションに注目したアジア間協力のためのリスク時のバリアフリー・コミュニケーションツールの調査・開発」		2016.4	http://www.geocities.jp/hipchip_1221/asiastudy.html	斉藤くるみ(研究代表者)・西田昌之・森壮也・末森明夫・山下英三郎・崔相培・張榮興・Joycie Y. Dorado Alegre・Saifon Su-indramedhi	
< 翻訳 >					
< その他の執筆活動 >					
「聴覚障害者に開く高等教育の扉 ろう教授陣の日本手話による授業」	単著	2014.4	『翼』267		5-6
「聴覚障害者に開く高等教育の扉 聴覚障がい支援の伝統」	単著	2014.5	『翼』268		5-6
「聴覚障害者に開く高等教育の扉 入試への『日本手話』の導入」	単著	2014.6	『翼』269		5-6
学会等および社会における主な活動					
< 学会報告 >					
Theoretical Issues in Sign Language Research' conference. (10th July 2013 at University College London, UK.)	Eye Gaze and Eye Movement in Japanese Sign Language				
日本社会事業大学社会福祉学会	「福祉を学ぶ学生のための教養教育としてのハンセン病研究」 斉藤くるみ(代表)・相原朋枝・大野ロベルト・後藤隆・鈴木久美・田村正広・辻浩				
< 講演活動 >					

日本手話学会	手話学セミナー講演「手話研究と認知学～視線分析を通して」(2016.7.9)
J - CODA	講演「日本手話・インド舞踊の視線」(2016.12.24)
<所属学会>	
International Society of Anglo-Saxon 日本手話学会 社会言語科学学会 大学教育学会 日本顔学会 多言語社会研究会 中世英語英文学会 障害学会 日本英語学会 日本社会福祉学会	コミュニケーションと認知科学の関係 手話研究(手話と大学教育の関係等) 言語と視線の認知的研究
<社会的活動>	
「大学へ行こう」	聴覚障害をもつ高校生の進学率をあげるべく、大学受験の指導を行った(日本財団助成)
e-ポートフォリオを利用した聴覚障害をもつ高校生の進学支援	ウェブ上で、ろう難聴の高校生・教師・ソーシャルワーカー・情報保障支援者・ボランティアを結び学習支援を行った。http://www.ouchide-yobikou.net/(三菱財団助成)
「学校だけではわからないーコミュニケーションスキルアップハンドブック」	聴覚障害者の書記日本語の特徴を利用した、日本語教育マニュアルの開発(みずほ財団助成/社会福祉学校連盟推薦)
日本手話学会	副会長
Pep-Net Japan	運営委員